

あがだ やしろ びやうじやうあん
県の社は平等院の後西門の跡の傍にあり、祭る所は弓削道鏡の靈なりとぞ。一説には宇治の悪左府を祭ともいふ。

〔保元物語に曰、宇治左大臣頼長卿は知足院禅閣殿下の三男なり、信西を師として常に学窓にこもり、仁義礼智信を正
くし、賞罰勲功を別、政務をきりとほしにして、上下の善悪をたゞされければ、時の人悪左府とぞ申ける〕例祭は五月
五日夜神輿一基あり。